

C 21

福岡縣
尋常
範學
師校

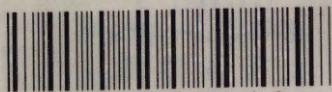
文部
讀本

小學習字帖

高等科用

四

圖書 和圖書 遡



a 1 3 8 0 3 3 2 9 1 0 a

福岡教育大学蔵書

門 學 科 教 育	
部 道 書 教 授	
目	次
全 冊 / 第 冊	冊
分類 番 號	號
372.82	

T1

72

F7



福地源一郎著

正價金八錢

文部
讀本
小學習字帖
高等科用
四

海石村田浩藏書

我國ハ東洋ノ美術國トシテ海外

諸國ニ尊バル繪畫ハ美術ノ根本

ニレテ猶家屋ノ基礎ノ如シ汝等
後來一技一藝ヲ脩メ美術ヲ以テ

己ヲ益シ人ヲ利シ産ヲ興シ國ヲ
富サント思ハシ繪畫ヲ勉強スル

コト最モ肝要ナラン我國繪畫
中興ヲ言ハバ狩野元信守信二

人ヲ推ス元信古法眼ト稱シ守信
探幽齋ト號ス

梓啓並清福奉忍願を陳ふ生
此程より日本古代法律の沿革を

少く心得度存居る處北條氏の部
ふより身永武国の次第更なる

不申候間概略
沙況示部下及
殿上
候頓首

四月七日

和田氏幸

武田信綱様

貴翰詳見仁侯被仰越々武国の次
弟詳細小生も記憶不致底共

概畧の所左ふ申上り所参考の
助も相成候り幸甚

貞永或曰ハタ永元年八月の制
定ル連署の有司十三名中武

藏守泰時相模守時房玄蕃元康
連等の名前も相見え其目々

都倉五十一條、初、神社、佛
寺の事、次、諸國守護人の事、謀

叛、殺害、罪科の事、所領の事、奴婢、
雜人の事、等、有之、總て、文教と專

らざし武断とまり礼節を脩め
権勢を抑へ常罰致嚴ふ姦邪

を除き國家の治安吏務の要領
成記したるをよ作

三月九日

武田信綱

和田氏幸様

田
十

家にあれもけふもる飯を草枕旅
し阿まの推の葉よもるとの歌

の心は君をねなされ承知しうは
歌をう葉けとふ飯を座る等まで

笛は字を認めを字枕は旅といふ
人の枕詞草と結びて枕とほるの

素なり者い今のぬき旅籠屋と
旅ふ出づまむ料枕乃野宿もー又

も塩汲む海士れ荒れゝる家ゆを
一夜のおを寝ひてゆーゝなり

菊ふとる飯を云々水ふ飯椀も明
くて木の葉に書つゝ一はま城なり

万もれをて候

五月廿六

高田寺より

稲田お子屋

一葉ノ散リテ水面ニ浮ビ流ル、

ハ我々ノ見テ以テ常觀トスル所
ナリ然レドモ「コロンブス」ハ此ヲ

以テ大洋ヨリ陸地ニ近ツク兆候
ヲ發見セリ液體ノ溫ニ感ジテ沸

騰スルハ左バカリ奇ラレキ事ニ
非ス然レモ智者ハ之ヲ以テ寒暖

計ヲ創製スルノ基本トセリ常人
モ達人モ其見ルトコロハ一ナレ

ドモ利用スルトセザルトノ差ハ
廻ニ異ナリ汝等其何ニ由リテ然

ルヲ知ルヤ

昨日蒙古襲来の繪巻一見は誠

我兵は勇ましく敵の亂入を防ぎ

に負け死と事とせりて敵

小戦ひ其船と奪ひ其將を擒ま
る様壯快此上なく相模を郎な

ける者自ら勝魔の如くお成るや
う覺え申作貴君も是非決一晩

可然と奉存は早に

六月十日

草壁弘安

河野二郎様

去風をよと吹くと知は葉は花咲

まゝて蝶いぬい秋風さつとふく時
いもぢちふふありて麻を鳴く涼

まゝ夏の夕風を飛びふ常とお別
れて身ふむ冬の初風の雪の友

とやありぬらん四季朽とれ景色
あそ風の波と見えづれ

蜂ハ春季巢内ニ蜜ヲ貯ヘ蟻ハ夏
日穴中ニ食ヲ蓄フ故ニ朝天寒

キニ遇フモ其眷屬決ミテ餓死ス
ルノ憂ナレ人モ亦壯健ナル時ニ

於テ浪費ヲ省キ金錢ヲ貯ヘ常ニ
餘裕アラシメナバ假令疾病其他

ノ事故アルモ狼狽スルヲ無カル
可シ而シテ之ヲ為スハ節儉ニ在

リ儉ノ徳大ナル哉

兼、錫舍見物心掛け居り作室

昨日の天気もよく学校も休
暇有汽車まで罷つて越へて岩宮

八幡稲村等を初の舊懐の情を起
るべき名所舊跡数多く作ひが

殊ふ二階堂谷ふる護良親王の鎌
倉宮并に安東聖考義死の直時

屋形跡尋感慨やる方なると見えは
同行の新田高崎氏もどいばまも

追吊に詩歌ども詠せられ其を
拜肩の言御目掛あり申候一

八月三日

戸野高重

村上義博様

吾人ノ腹中ニ食物ヲ消化スル
ノ機關アリ其名ヲ胃ト云フ然レ

ドモ齒ニテヨク其食ヲ嚙ミ碎ク
ニアラザレバ胃ヲ損ズルコトアリ又

其食品選擇ニ注意スベシ穀肉
果菜一ヲ闕クモ不可ナリト雖モ

就中牛羊兔雞ノ肉ヲ以テ滋養ノ
効分多シトス

落花の雪よ踏み迷ふ片時も春の
楊柳紅葉の錦を着て悔る風は山

乃木の暮一夜を待つに程ぐま
詠寐とるれを悔きふ思ひの妻り

浅うぬ家故郷の妻子とて行末
も知らず思ひ置け年久しく

住ま馴せし九重北帝都とて今残
限りと願ふ思ふぬ旅とて残ふ

心の中を哀れな歌

版權所考

明治廿四年十二月廿四日出版
 明治廿四年十二月廿七日登錄
 明治廿五年三月廿四日訂正再版
 文部省檢定濟

著者

福地源一郎

東京府平井

書者

村田浩藏

大阪府平野

發行兼印刷者

西田傳助

東京府平井

東京澤川公園地第三十四號

印刷

製本

發賣

所

大販賣所

大販賣所

繁本良之助

廣岡幸助

廣岡商店

大日本圖書會社

同支社

大阪府東區南區南門外七十三番屋敷

